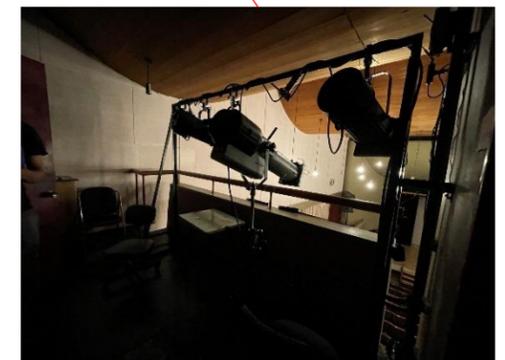
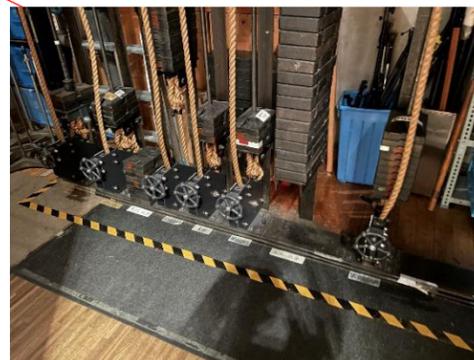
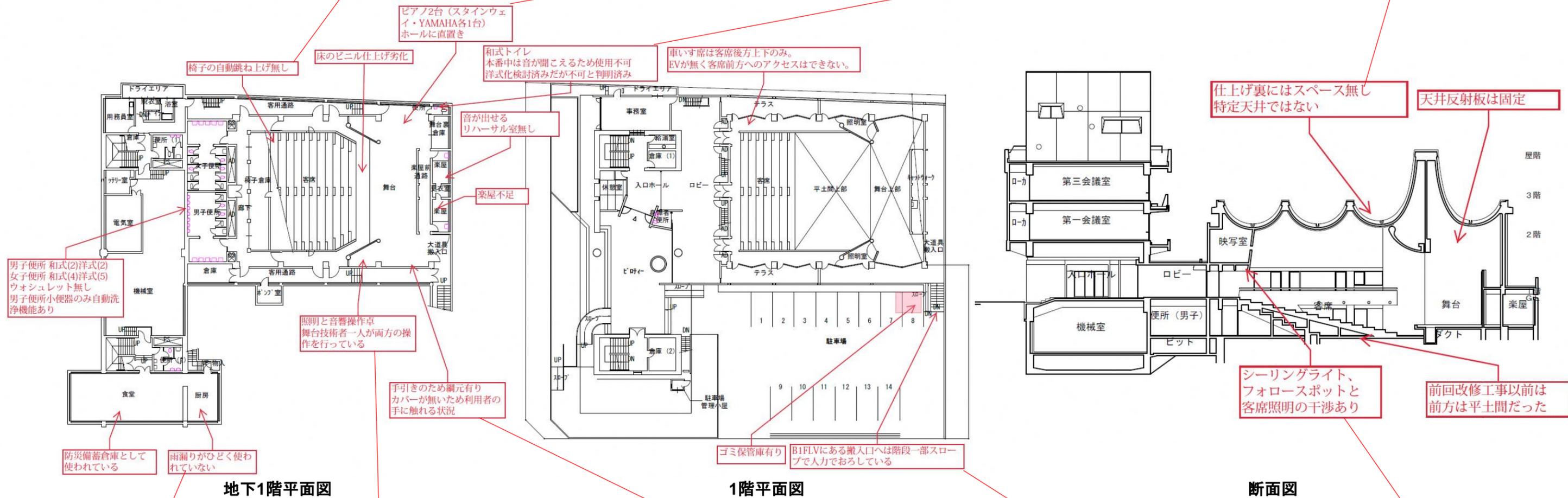


武蔵野公会堂の現状と課題（ホール棟）

現公会堂の課題点を下図にまとめました。舞台機構を中心とした舞台周辺の使い勝手の改善や、空調機械設備関係・電気受変電設備等根底となる設備からの更新が必要です。

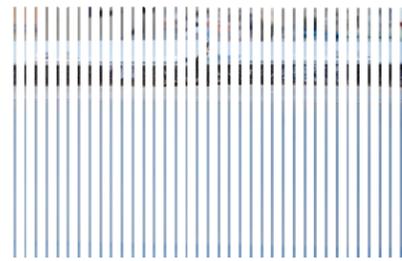


武蔵野公会堂の各分野の改修工事の課題

改修基本方針

武蔵野公会堂は、劇場ホール施設のため複雑かつ高度な建築・一般設備・舞台特殊設備等で構成されています。それらの設備類は、利用頻度や時間の経過により劣化し、安全面・機能面で課題を抱えています。今後20年の未来にも活用され続けるためにも改修が必要です。

建築・構造



シールの劣化

■ 現状の課題

経年における各所シールや塗装等の破損の補修が必要です。またスチール建具の補修、屋根の高耐久シート防水、笠木、サッシュシール、外壁塗装等の更新が必要です。

電気設備



動力電源盤

■ 現状の課題

電気設備は、照明器具や弱電設備に関する全ての更新と、高圧関連機器や発電機設備、蓄電池設備、分電盤等の全ての電源盤設備の一式の更新が必要です。

機械・衛生設備

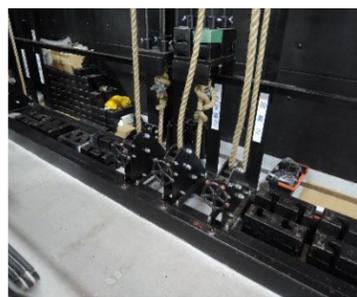


冷温水機

■ 現状の課題

機械設備は、システム全体の更新を行う必要があります。現在の機器類の更新期限は過ぎた状況です。熱源機器類・空調機・ファンコイルユニット・遠心送風機・全熱交換機等の配管・ダクト類の更新が必要です。

舞台機構設備

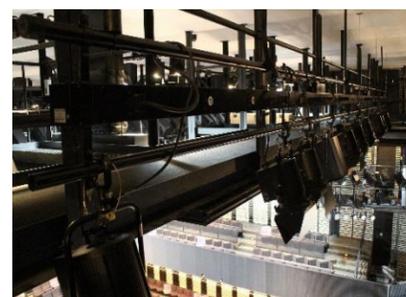


舞台機構綱元

■ 現状の課題

今までの改修を踏まえて、舞台の音響反射板が固定化するなど、プロセニウム形式と音響反射板形式とが両立できていない状況です。また、舞台上の吊物機構が全く機能していない状況です。

舞台照明設備



照明ボーダーケーブル

■ 現状の課題

現在はハロゲンの古い光源の舞台照明が付けられ、調光盤は更新されていますが、今後の20年を踏まえると舞台照明も更新の必要があります。また、LED光源の導入が課題です。

舞台音響映像設備



音響アンプ

■ 現状の課題

舞台音響はシステム全体の更新を行う必要があります。弱電を中心とした電源と新しい時代に必要なデジタルの信号線・制御設備の導入が必要です。